

1. 製品及び会社概要

製品名： 松風ハイライト 液
会社名： 株式会社 松風
住所： 京都市東山区福稲上高松町 1 1
担当部門： 技術部品質保証課
担当者： 品質保証課長
電話番号： 075-561-1112
FAX 番号： 075-275-4795
E-Mail： webmaster@shofu.co.jp
推奨用途： 歯科材料

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

酸化性液体 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性（経口） 区分に該当しない

急性毒性（経皮） 区分 4

急性毒性（吸入：蒸気） 区分 3

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） 区分 4

皮膚腐食性/刺激性 区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 1（呼吸器系）

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（呼吸器系）

環境に対する有害性

水性環境有害性 短期（急性） 区分 2

GHS ラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ；酸化性物質
 皮膚に接触した場合や吸入した場合は有害
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 吸入すると有毒
 臓器の障害（呼吸器系）
 長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系）
 水生生物に非常に強い毒性

注意書き

[安全対策]
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。



安全データシート

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

衣類及び他の可燃物から遠ざけること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

環境への放出を避けること。

[応急措置]

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

漏出物を回収すること。

[保管]

容器は密栓し冷蔵庫（1～10℃）に施錠して保管すること。

[廃棄]

内容を明確にして公認の産業廃

棄物処理業者に委託するか、もしくは地方公共

団体の規則に従うこと。

国・地域情報

国内法は第 15 章「適用法令」を参照のこと。

3. 組成及び成分情報

3.1 単一製品・混合物の区別

混合物

3.2 成分及び含有量

成分名	CAS 番号	官報公示整理 番号(化審法)	含有量 (重量%)
過酸化水素	7722-84-1	1-419	35
水	—	—	65

4. 応急措置

4.1 眼に入った場合

直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続ける。直ちに眼科医の診察を受けること。

4.2 皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。又は取り去ること。
皮膚を流水又はシャワーで洗浄すること。
直ちに医師の治療を受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

4.3 吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の治療を受けること。

4.4 飲み込んだ場合

清浄な水で口の中を洗浄する。無理に吐かせないこと。直ちに医師の治療を受けること。

4.5 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入した場合：咽頭痛、咳、めまい、頭痛、吐き気、息切れ。
皮膚に付着した場合：腐食性。白斑、発赤、皮膚熱傷、痛み。
眼に入った場合：腐食性。発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷。
飲み込んだ場合：咽頭痛、腹痛、腹部膨満、吐き気、嘔吐

4.6 応急措置をする者の保護に必要な注意事項

情報なし

4.7 医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置**5.1 適切な消火剤**

大火災：多量の水
小火災：水

5.2 使ってはならない消火剤

粉末消火剤、泡消火薬剤

5.3 火災時の特有の危険有害性

熱で容器が爆発するおそれがある。
火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。
加熱されたり、火災に巻き込まれると、爆発的に分解するおそれがある。
加熱されたり、不純物が混入すると、爆発するおそれがある。

5.4 特有の消火方法

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は適切な消火剤等を用いて風上から行う。

5.5 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置**6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外は近づけない。
作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
密閉された場所は換気する。

6.2 環境に対する注意事項

河川、水路や下水に流れ込まないように注意すること。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。

パーミキュライト、砂、土等不燃材料に吸収させ、空容器に回収する。後で廃棄処理する。

6.4 二次災害の防止

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

可燃物（木、紙、油等）は漏洩物から隔離する。

7. 取り扱い及び保管上の注意**7.1 取り扱い**

皮膚、眼との接触、ガス、ミスト、ヒュームの吸入等を避けるために、適切な保護眼鏡等の保護具を使用すること。

室内で取り扱う場合は、局所排気装置等で換気を充分行うこと。

7.2 保管

容器は密栓し直射日光を避けて、冷蔵庫内（1～10℃）に劇物毒物取締法に準じて施錠して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置**8.1 管理濃度**

設定されていない。

8.2 許容濃度

過酸化水素 ACGIH（2013年版） TLV-TWA 1 ppm

8.3 設備対策

局所排気装置、安全シャワー、手洗い・洗顔設備、洗眼器等

8.4 保護具

呼吸用保護具：呼吸器保護

手の保護具：保護手袋

眼の保護具：保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：保護前掛け（ゴム）、保護長靴（ゴム）

8.5 特別な注意事項

情報なし

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状态、形状、色等）： 無色透明の液体

臭い： 特有な刺激臭

pH： 2.5～3.7

融点・凝固点： > -33 °C

沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし

引火点： データなし

燃焼性（固体、気体）： データなし

爆発範囲の上限・下限： データなし

蒸気圧： 3.07 kPa 30°C

比重又は嵩比重： 1.13 g/m³

溶解度 (水):	可溶
η -オクタノール/水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
粘度 (動粘性率):	データなし
蒸気圧:	データなし
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし
その他のデータ:	なし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

強力な酸化剤であり、可燃性物質や還元性物質と激しく反応し、特に金属が存在すると火災や爆発の危険をもたらす。

10.2 化学的安定性

通常条件では安定。

加温や光の影響により分解し、酸素を生じて火災の危険性を増大させる。

10.3 危険有害反応可能性

種々の無機化合物を酸化し、有機化合物に対しても酸化作用がある。

10.4 避けるべき条件

白金、銀、銅、鉄、クロム、マンガン等と接触すると、急激に分解して酸素ガス及び熱を発生し、密閉容器では破裂することがある。

10.5 混触危険物質

重金属、アルカリ、酸化され易い有機物等

10.6 危険有害な分解生成物

酸素ガス (支燃性がある)

11. 有害情報

11.1 急性毒性

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害

吸入すると有毒

過酸化水素;

吸入	ラット	LC50	2000 ppm/4H
----	-----	------	-------------

経口	ラット	LD50	1518 mg/kg
----	-----	------	------------

経皮	ウサギ	LD50	9200 mg/kg
----	-----	------	------------

11.2 皮膚腐食性/刺激性

重篤な皮膚の薬傷

11.3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

重篤な眼の損傷

11.4 呼吸器感作性/皮膚感作性

データなし

11.5 生殖細胞変異原性

データなし

11.6 発がん性

データなし

11.7 生殖毒性

データなし

11.8 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

臓器の障害 (呼吸器系)

11.9 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害
(呼吸器系)

11.10 誤えん有害性

データなし



12. 環境影響性

12.1 生態毒性

水生生物に非常に強い毒性

EC50 72h-藻類：2.43 mg/l（藻類 ニッチア、72hr） 推定値

12.2 残留性・分解性

データなし

12.3 生態蓄積性

データなし

12.4 土壤中の移動性

データなし

12.5 オゾン層への有害性

データなし

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として処理に関する法律、規則、条令に則り廃棄する。廃棄する場合は、内容を明確にして産業廃棄物処理業者に委託する。

多量の水で十分に希釈して処理する。

14. 輸送上の注意

14.1 注意事項

毒物劇物取締法

劇物に該当するので、規程の注意に従うこと。

日光の直射を避けて、容器内温度を 40℃以下に保ち、上記の保護具を用意しておくこと。

14.2 国連番号・国連分類

番号： 2014

クラス： 5.1

包装等級： II

適切な積荷名称： Hydrogen peroxide, aqueous solution

15. 適用法令

15.1 消防法

非該当

15.2 労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条）

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2）

危険物・酸化性の物（施行令別表第 1 第 3 号）

腐食性液体（労働安全衛生規則第 326 条）

15.3 化学物質排出把握管理促進法

該当物質なし

15.4 劇物毒物取締法

劇物（法第 2 条別表第 2） 劇物（指定令第 2 条）

15.5 化審法

優先評価化学物質（法第 2 条第 5 項）

15.6 船舶安全法

酸化性物質類（危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1）

（必要に応じ安定剤入りのもので濃度が 20 質量%以上 60 質量%以下のもの）



安全データシート

page 7/7

松風ハイライト
液

印刷日：2025-10-16

15.7 航空法

酸化性物質類・酸化性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
(安定化されたもので、濃度が20質量%以上40質量%未満のもの)

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改定されることがあります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

*) 本製品は、歯科用歯面漂白材として設計しております。他の用途での使用は、避けてください。